

※下書き用紙に表示している内容は2023年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2023年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与同時申込み）用】



給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込む人は、青色背景の設問のみに答えてください。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む人は、青色背景と灰色背景の両方の設問に答えてください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間 8:00~25:00（最終締切日は8:00~24:00）

※受付時間を過ぎると画面が強制的に終了します。余裕をもって入力を開始してください。

入力所要時間の目安は30分~1時間です。



給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

①

氏名	学籍番号	学部・学科・分野
科学 太郎	23AF000	生命環境学部

②

受付番号

入力の順に必要な項目です。学校の担当者に必ず正しい名称を確認してください。

入力が完了し「印刷」ボタンをクリックした後に、受付番号が画面に表示されます。

【スカラネット入力の前に、手元を用意する書類】

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・マイナンバー提出書
- ・奨学金振込口座（本人名義）の選振などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

③

識別番号入力
あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
（注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

パスワードはスカラネット入力時（無印配等）での表示になります。入力エラーになる場合は、入力した文字を自分で見て確認できるように、事前にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

④

奨学金学種（学校）・申込の選択
あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

大学の表示例

大学

課程を選択してください。

⑤

申込奨学金の選択。「次へ」ボタンをクリックしてください。

大学の場合の表示例

(1) 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金

(2) 貸付奨学金採用（給付奨学金のみ）

注意！
「定期採用」を選んでいることを再度確認してください。誤って他の選択肢を選択し、選考の対象にならず、申込をやり直す必要が生じます。

高等専門学校の表示例

(1) 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金

(2) 貸付奨学金採用（給付奨学金のみ）

注意！
「定期採用」を選んでいることを再度確認してください。誤って他の選択肢を選択し、選考の対象にならず、申込をやり直す必要が生じます。

大学の表示例

(1) 定期採用（兼学スクーリング又は各学スクーリング）

(2) 貸付奨学金採用（貸付奨学金のみ）

注意！
「定期採用」を選んでいることを再度確認してください。誤って他の選択肢を選択し、選考の対象にならず、申込をやり直す必要が生じます。

2023年度《二次採用》
スカラネット入力下書き用紙 記入例

こちらの青色の下書き用紙は

- ①給付奨学金のみ申請者
- ②給付奨学金と貸与奨学金両方申請者

上記①②に該当する人が記入します。

※貸与奨学金のみ申請する方は、
赤色の下書き用紙を使用してください。



◆全員記入

①	氏名…学生本人の氏名を記入
	学籍番号…学生証を確認して正しく記入 ※アルファベットは大文字・「s」はつきません
	学部・学科・分野…所属する学部のみを記入 ※生命環境学部・医療科学部・教育人間科学部のいずれか
②	受付番号…未記入で提出
③	ユーザID・パスワード…未記入で提出
④	「大学」と記入
⑤	(1)定期採用を選択

① あなたの氏名・誓約情報
 日本学生支援機構理事長 殿
 私は貴奨学金会の申込みにあたり、学校に提出した「返還誓約書」及び「給付奨学金返還書」にしたがい、奨学金に採用決定後は速やかに貸与奨学金は「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後、または給付に選定の義務が生じた場合には滞りなく返還すること及び以下の申込み取組事項については正しく記入することを誓約します。

① 誓約日 西暦(4桁) 年 月 日
 (半角数字)

② 生年月日の入力をお願いします。正しく成年判定を行うことができますのでご注意ください。

③ 国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。
 ※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。
 ※在留資格が「定住者」又は「特別永住者」の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

④ 借与奨学金の貸与月額の返還
 あなたが第一種奨学金(返還型、無利子)と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用できる場合は、返還等の規定に基づき、給付奨学金の支給月数及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月数が調整(減額または増額)される場合があります。調整の結果、借与月数が超過となる場合は、別途追加が必要になります。また、調整後の貸与月数に超過する場合は、機構の定めるところにありますが調整前の貸与月数と超過以下の貸与月数に調整されます。

STEP3
② 奨学金申込情報
 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程の場合

⑤ 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。
希望します
希望しません
 ※給付奨学金の対象者は、進学先の大学等において別途手続きをすることで授業料や入学金の減免を受けられます。
 ※学号→給付奨学金(貸与型) / 借与奨学金(貸与型) / 借与奨学金(返還型) / 借与奨学金(無利子)

⑥ 借与奨学金を受けたい人、借与奨学金を受けたい人以外は「希望しません」を選択してください。
希望します
希望しません

あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。
 (a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。
 ○(1) 第一種奨学金のみ希望します。
 ○(2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
 ○(3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。
 ○(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
 ○(5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。
 ○(6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
 (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。
 ○(8) 第二種奨学金の貸与を受けています。第一種奨学金への変更を希望します。
 ○(9) 第一種奨学金の貸与を受けています。第二種奨学金への変更を希望します。
 ○(10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 ○(11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 ○(12) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
 ○(14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。
 ※(12) は欠番です。
 上記 (8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号
 (半角数字) (例: B22 004 999999)

給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

◆全員記入

①	誓約日…未記入で提出
②	申請者本人の氏名・生年月日を記入
③	国籍についてあてはまるものを選択し <input checked="" type="checkbox"/> ※「日本国籍以外」を選択した場合は、その下の在留資格、在留期間等についても回答してください。
④	「同意します」に <input checked="" type="checkbox"/>
⑤	給付奨学金の新規申込を希望するか回答してください。 →「希望します」に <input checked="" type="checkbox"/> ※希望しない方は、赤色の下書き用紙を使用すること。
⑥	貸与奨学金の申込を希望するか回答してください。 ◇給付奨学金のみ申請する 「希望しません」に <input checked="" type="checkbox"/> ◇貸与奨学金を申請する 「希望します」に <input checked="" type="checkbox"/> 貸与奨学金案内P.28～29ページを必ず確認し、自分が希望する貸与奨学金を1つ選択し <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。

誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日を基準として、成年判定を行います。

学生本人の本名を、全角漢字及び全角カナで入力してください。多岐がよい場合は、入るとともに「カタカナ」で入力してください。【貸付奨学金案内P.9ページ「文字入力」参照】。

外字は使用しないでください。
 (例) 吉一、真一真、真一祐

漢字氏名には「[]」もに入力でできませんが、カナ氏名に「[]」は入力できません。カナ氏名は代わりに「[]」と入力してください。
 (例) 漢字氏名 田村 かなる
 カナ氏名 田村カナル

姓・名義と利に、「[スペース]」は入力しないでください。【貸付奨学金案内P.9ページ「文字入力」参照】

△カナ氏名は、申込(借与)の名称に入力してください。【貸付奨学金案内P.9ページ「文字入力」参照】

外国人の人は「給付奨学金案内」13ページの表のとおり在留資格に期限があります。必ず在留資格を在留カード等に記載してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者等及び定住者の人は、在留期間(満了日)を入力してください。在留資格が「特別永住者」又は「特別永住者」の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

【2. 貸与奨学金(月額・第一種奨学金・第二種奨学金)の新規申込みを希望しますか。】で「希望します」を選択すると表示されます。【貸与奨学金案内】をよく確認し、希望するものを選択してください。
 選定希望の人が選択可能なのは次のページに記載されています。

【印 - (14) を選択する人へ】
 ①第一種・第二種どちらの一方を貸与の中心、予約採用者、又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入者より第二種奨学金を継続する人で、(印 - (14) を希望する場合は、下記のとおり選択・入力してください。【貸与奨学金案内】も参照してください。
 ○第二種→第一種の変更又は第一種→第二種の変更
 -変更前の奨学生番号が決定している場合は(印)又は(印)を選択し、下の奨学生番号欄に決定している奨学生番号を入力する。
 -変更前の奨学生番号が未決定の場合は(印)又は(印)を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当へ申し出る。
 ○第一種又は第二種→併用貸与の変更
 -変更前の奨学生番号が決定している場合は(印)又は(印)を選択し、下の奨学生番号欄に決定している奨学生番号を入力する。
 -変更前の奨学生番号が未決定の場合は(印)又は(印)を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当へ申し出る。
 ○併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与中の奨学金とは異なる種類の貸与奨学金への変更を希望
 -変更前の奨学生番号が決定している場合は(印)又は(印)を選択し、下の奨学生番号欄に決定している奨学生番号を入力する。
 -変更前の奨学生番号が未決定の場合は(印)又は(印)を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当へ申し出る。

通信課程の場合

- 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。
 - 希望します
 - 希望しません

※給付奨学金の対象者は、進学先の大学等において別途手続きをすることで授業料や入学金の減免を受けられます。
参考：支給月数一覧（PDF）
- 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか。
 - 希望します
 - 希望しません
- あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。
 - ① 第一種奨学金のみ希望します。
 - ② 第二種奨学金のみ希望します。
 - ③ 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与を希望します。

①-あなたの在学情報 大学の場合

- 学校
 - あなたの学校名を確認してください。 (1) ×× 大学
 - あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号)
 - あなたの在学している学部 (科) 名を選択してください。 (3) 正課 専攻科 別科

(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。
- あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) いいえ 専攻科 別科
- 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年
- 無償課程を選択してください。
 - 無償 (無夜間講含む) 夜 通年スクーリング 期間スクーリング
- 現在通っている学校への入学について、次の①-③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。
 - ①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
 - 入学した年月：西暦 (半角数字 4桁) 年 月
 - ②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。
 - 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：西暦 (半角数字 4桁) 年 月
 - 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：西暦 (半角数字 4桁) 年 月
 - 現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：西暦 (半角数字 4桁) 年 月
 - ③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある)。(以下5つの年月を全て記入してください)
 - 【1回目の編入学】
 - 2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：西暦 (半角数字 4桁) 年 月
 - 2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：西暦 (半角数字 4桁) 年 月
 - 2回目の学校へ編入学又は転学した年月：西暦 (半角数字 4桁) 年 月
 - 【2回目の編入学】
 - 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：西暦 (半角数字 4桁) 年 月
 - 現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：西暦 (半角数字 4桁) 年 月

短期大学及び高専専門学校の人は、以下のとおり取替が必要になります。この取替において、あなたが在籍している専攻科が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けているかを「認定専攻科の一覧表」で確認し、「はい」又は「いいえ」を選択してください(「いいえ」を選択した場合は、給付奨学金の支給対象外です)。

④ あなたは正課の課程を修了後に専攻科に在学していますか。 ← はい いいえ

上記で「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に認められた認定専攻科ですか。 ← はい いいえ

認定専攻科の一覧表 (独立行政法人大学改革支援・学位授与機構のページ) (PDF)

あなたが在籍している通信課程により奨学金の貸与を受けられない場合があります。詳しくは学校に確認してください。

【2. 貸与奨学金 (月額：第一種奨学金 (無利子)、第二種奨学金 (有利子)) を希望しますか。】で「希望します」を選択すると表示されます。貸与奨学金案内をよく確認し、希望するものを選択してください。

【2. 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン()以外の文字を入力することができません。学籍番号に含まれる以外の文字が記されている場合は、学校の指示にしたがってください。】

【4】専修学校は、「あなたが上級学科に在学していますか」という取替が表示されます。学校からの指示がない限り【4】は「いいえ」を選択してください。

【5】次のページに掲載の「入学・卒業年月等取替表」を確認し、卒業年月に含むれた実質学年を入力してください。編入学の場合は編入した学年を入力してください。
(例) ②2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年
③3年次編入→3学年

【6】通信課程の学生は「長 (夜間講義含む)」又は「日」を選択してください(専修専門学校の場合は、この取替が表示されません)。

【7】①-③の中から該当する1つを選択してください。

編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要ですよ。
(例) 2021年4月にA短期大学に入学。2023年3月にA短期大学卒業後、2023年4月にB大学の3年次に編入学。
- 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：2021年4月(A短期大学の入学年月)
- 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：2023年3月(A短期大学の卒業年月)
- 現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：2023年4月(B大学へ編入学した年月)

短期大学又は高専専門学校の認定専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する取替が表示されます。
- 専攻科に入学する前に通っていた学校(本科)へ入学した年月
- 専攻科に入学する前に通っていた学校(本科)に在籍していた最終年月
- 専攻科に入学した年月

高専専門学校から編入学、転学又は専攻科に入学した場合は、前に在学していた学校の入学年月には高専専門学校の4年次に進級した年月を入力してください。

高専専門学校の場合は、以下のとおり取替が必要になります。

【6】 あなたの入学年月を記入してください。
西暦 (半角数字 4桁) 年 月 入学

【7】 現在通っている学校の4年次に進級した年月を記入してください。
西暦 (半角数字 4桁) 年 月

短期大学の場合は「【4】 あなたは専攻科または別科に在学していますか」と表示されます。

4

◆全員記入

(2)	学籍番号を正しく記入
(3)	所属する【学部】を記入 ※生命環境学部・医療科学部・教育人間科学部のいずれか
(4)	「いいえ」に <input checked="" type="checkbox"/>
(5)	学年を記入
(6)	「昼(昼夜開講含む)」に <input checked="" type="checkbox"/>
(7)	①～③の中から該当するものを選択し <input checked="" type="checkbox"/> 入学年月等を記入 (例) 高校等を卒業した後、帝京科学大学の1年時に入学した場合⇒①を選択。入学年月を記入。

(8) あなたの正期の卒業予定年月を記入してください。
 ① 西暦(半角数字4桁) **2027**年 **3**月 卒業予定

(9) あなたの正期の修業年限を記入してください。
 ② (半角数字) **4**年 **0**か月

<入学・卒業予定年月早見表>

2023年4月現在 1年生			2023年4月現在 2年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2025/3	2年		2024/3
3年		2026/3	3年		2025/3
4年	2023/4	2027/3	4年	2022/4	2026/3
5年		2028/3	5年		2027/3
6年		2029/3	6年		2028/3

2023年4月現在 3年生			2023年4月現在 4年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年		2024/3	4年		2024/3
4年	2021/4	2025/3	5年	2020/4	2025/3
5年		2026/3	6年		2026/3
6年		2027/3			

③ 郵便番号(半角数字) **409-0133** 住所検索
 住所1(自動入力) **山梨県上野原市八ツ沢**
 住所2(番地以降)(全角文字) **2525**

④ 自宅通学(またはこれに準ずる) 自宅外通学

⑤ 実家(生計維持者いずれかの住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
 実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
 実家から大学等までの通学費が月1万円以上
 実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
 その他何かを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

⑥ 郵便番号(半角数字) *****-**-****** 住所検索
 住所1(自動入力) **東京都***区****
 住所2(番地以降)(全角文字) *****-**-****アパート101号室**

給付奨学金制度

申込手順等

スカラシップ入力下書き用紙

採用後の手続き

◆全員記入

正しい卒業予定期を記入してください。

4年	2024年 3月
3年	2025年 3月
2年	2026年 3月
1年	2027年 3月

①

② 「4年0か月」と記入。

③ 通学しているキャンパスの住所を記入。

	千住キャンパス	東京西キャンパス
郵便番号	120-0045	409-0133
住所1	東京都足立区千住桜木2丁目	山梨県上野原市八ツ沢
住所2	2-1	2525

④ 実家から通っている⇒「自宅通学」に
 アパート等で一人暮らし⇒「自宅外通学」に

⑤ 自宅外通学者は、あてはまるもの全てにを入れてください。

⑥ 自宅外通学者は、一人暮らしの現住所を記入してください。
 ※アパート名、部屋番号等も忘れずに記入すること。

④-奨学金給付額情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込分からの支給の停止を希望しますか。

はい いいえ

【はい】と答えた人は、停止理由を選択してください。

- 2023年4月1日時点で休学中であるため（2023年4月2日以降に休学が始まる場合は該当しません。申込後、別途手続きが必要です）。
- 他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため
- その他

②

② 2023年4月以降、以下の国費による支援を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額は0円となります。

- ・教育訓練支援給付金【雇用保険法】
- ・訓練経費給付、技能習得手当（受講手当、通所手当）【雇用保険法】
- ・職業訓練受給給付金【職業訓練の実施等による特定求職者の訓練の支援に関する法律】
- ・高等職業訓練促進給付金（ひとり親家庭の親を対象とする給付金）【母子及び父子並びに寡母福祉法】
- ・職業転進給付金<訓練手当>【労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律】

支援を受けておらず受ける予定もない

支援を受けている
支給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 月 ～ 年 月 月

支援を受ける予定である
支給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 月 ～ 年 月 月

国費の一覧表（文部科学省ホームページへリンク）（PDF）
※申告書入力の場合、給付奨学金の全額返金を求めることがあります。

④-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

③ (1) **5万4千円**

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学期月を入力した人)の貸与月額】

区分 月額の種類	大学				短期大学・専修学校（専門課程）				高等専門学校（4・5年生、専攻科）			
	国・公立		私立		国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
職業月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
職業月額以外の月額		4万円	5万円	4万円		4万円	4万円	4万円		4万円	4万円	4万円
	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

職業月額を利用するためには、併用貸与の条件基準を満たしている必要があります。それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の目安は、「貸与奨学金案内」を参照してください。

→ 職業月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。
貸与月額○○円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

④ (1) **5万円**

⑥

◆全員記入

① 「いいえ」に
※ただし、下書き用紙に記載されている停止理由に該当する場合は「はい」を選択

② 2023年4月以降、申込者本人が国費による支援を受ける予定があるかどうかについて、当てはまるものを選択し

◆貸与奨学金（第一種奨学金）希望者は記入

③ 希望する貸与月額を記入してください。
※選択できる月額は、通学形態によって異なるので、選択可能な月額を記入してください。（表の緑色に囲まれている月額の中から選択）

④ ※最高月額
自宅通学者…54,000円
自宅外通学者…64,000円

① ①-保証制度で「機関保証」を選択した人

2. 本人以外の連絡先について
あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

姓	名
(1) 漢字 (全角5文字以内) <input type="text" value="新学"/> <input type="text" value="一郎"/>	
カナ (全角15文字以内) <input type="text" value="カガク"/> <input type="text" value="イチロウ"/>	

(2) その生年月日 (2) 年 月 日

(3) あなたとの関係 (3)

(4) その住所 (4) 郵便番号 (半角数字) 住所検索

住所1 (自動入力)
住所2 (番地以降) (全角文字)

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。
(ハイフンなし半角数字)

その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし半角数字)

①-保証制度にて「機関保証」を選択した場合に表示されます。

機関保証を選択した人は、あなた(本人)以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会する可能性があります。

※注意1「本人以外の連絡先」を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されることと連帯契約書に印字されます。万一、連帯契約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うこととなります。

※郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※国ページの「住所の入力例」参照
固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

② ①-保証制度で「人的保証」を選択した人

2. 連帯保証人と保証人について
あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・性別として、父・母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入力してください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓	名
(a) 漢字 (全角5文字以内) <input type="text" value="新学"/> <input type="text" value="一郎"/>	
カナ (全角15文字以内) <input type="text" value="カガク"/> <input type="text" value="イチロウ"/>	

(b) その生年月日 (b) 年 月 日

(c) あなたとの関係 (c)

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

連帯保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。
※印鑑登録証明書には住所と同一住所が記載されています。

(d) 郵便番号 (半角数字) 住所検索

住所1 (自動入力)
住所2 (番地以降) (全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。
(ハイフンなし半角数字)

その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし半角数字)

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (ハイフンなし半角数字)

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。 無職

①-保証制度にて「人的保証」を選択した場合に表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「貸与奨学金案内」を確認してください。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※国ページの「住所の入力例」参照
固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農林の場合は「農林」と記入してください。

無職の場合は「その勤務先」には何も入力せず、ここにチェックを入力してください。

◆第一種奨学金・第二種奨学金希望者で「機関保証」を選択した方は記入

本人以外の連絡先について記入してください。

①

- ・本人に送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに記入した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会する可能性があります。
- ・採用後に提出が必要な「返還誓約書」に署名をしてもらう必要があります。
- ・必ず連絡先に登録する人に、事前に許可を得てください。

※貸与奨学金案内P.22を参照すること。

◆第一種奨学金・第二種奨学金希望者で「人的保証」を選択した方は記入

連帯保証人について記入してください。

②

- ・連帯保証人は、原則父母のどちらかをお願いしてください。
- ・氏名、生年月日、住所は、印鑑登録証明書に記載されているとおりに記入してください。
- ・採用後に提出する「返還誓約書」に署名、押印したり、印鑑登録証明書等の提出が必要です。
- ・必ず連帯保証人をお願いする方に、事前に許可を得てください。

※貸与奨学金案内P.24～26を参照すること。

①-保証制度で「人的保証」を選択した人(続き)

①

(2) 保証人について入力してください。

原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。

未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字(全角5文字以内)

カナ(全角15文字以内)

(b) その生年月日 (b) 年 月 日 生

(c) あなたの性別 (c)

(d) その住所

・保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住所と同一住所が記載されています。

(d) 郵便番号(半角数字) 住所検索

住所1(自動入力)

住所2(郵便局) (全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし半角数字)

その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし半角数字)

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (ハイフンなし半角数字)

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですか。 (g) はい いいえ

※連帯保証人、保証人に相対しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の締結日(①-あなたの氏名・契約情報で入力した生年月日)時点での年齢を元に判定を行います。

あなたからみた続柄です。
(例) おじ、おば

※以下の場合は、「その他(知人等)」と記入(選択)してください。

- ・婚姻により続柄を失った父母
- ・親子縁組により続柄を失った本人の実父母
- ・配偶者の父母

(父(母))や「その他(4親等以内)」を選択しないでください。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもちに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。【住所2】には、「住所1」で選択した住所以降を、**居住地が異なる**しよつう入力してください。

※【住所1】の「住所の入力欄」参照

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、ごどちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農林の場合は「農業」と記入してください。

無職の場合は「その勤務先」には何も入力せず、ここにチェックを入力してください。

給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

連帯保証人・保証人について

①-保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ(合計2人)入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の拒弁権」及び「催告の拒弁権」があります(連帯保証人には適用されません)。

詳しくは、「貸与奨学金案内」を参照してください。

また、選任した連帯保証人・保証人が機関の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、⑩~⑪ページの(1)、(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらかじめ条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、②-保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類(返還誓約書)には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印(実印)し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。

STEP7

①-あなたの家族情報

- あなたは社会的養護を必要とする人ですか。
 - 「はい」と答えた人は、おてはまるものを選択してください。
 - 児童養護施設入所者等
 - 児童自立支援施設入所者等
 - 児童心理支援施設入所者等
 - 自立援助ホーム入所者等
 - 単親に養育されている(い)た
 - ファミリーホームで養育されている(い)た
- あなたの家族の人数
 - (1) 家族全員(あなたを含む)の人数を選択してください。

② はい いいえ

③

18歳時点であたり「はい」を選択する人は、施設に入所していた、又は養育による養育を受けていたことがわかる日付が記載された書類の提出が必須です。(証明書類の例)

施設等在籍証明書(施設発行)、児童(専続)委託証明書(児童相談所発行)、措置解除決定通知書(児童相談所発行)等

※施設等の所定様式(施設等在籍・退所証明書)で可。

申込者と生計が同一(同居)に入居している(同居)である全員の人数です(児童心理支援施設を除く)。収入が別別計の完全姉妹や叔父等は含みません。また、①-あなたの家族情報①の1で「はい」を選択した場合は自動的に1と表示されます。

◆第一種奨学金・第二種奨学金希望者で「人的保証」を選択した方は記入

保証人について記入してください。

保証人は、保証人の条件すべてに該当する方をお願いしてください。

- ① 父母以外の人
- ② あなた及び連帯保証人と別生計の人。
- ③ 連帯保証人の配偶者・婚約者ではない人。
- ④ 4親等以内の親族。(※)
- ⑤ 申請時点で65歳未満の人(※)
- ⑥ 未成年者・学生・債務整理中でない人。など(※)については、代替要件を満たすことで選任が可能。

必ず貸与奨学金案内P.25~26を確認し、選任条件に当てはまっている方を記入してください。

- ・必ず保証人をお願いする方に、事前に許可を得てください。
- ・氏名、生年月日、住所は、印鑑登録証明書に記載されているとおりに記入してください。
- ・採用後に提出する「返還誓約書」に署名、押印したり、印鑑登録証明書等の提出が必要です。

◆全員記入

- ② 社会的養護を必要とするかどうかについて回答。「はい」を選択した人はその下の6つの選択肢の中から該当するものに
- ③ 家族全員の人数を記入してください。(本人含めた人数)

3. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。
1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要で
す（離婚等により完全に別居した人を除く）。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 **①** (1) **2** 人

(2) 生計維持者①（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）

(a) あなたの続柄 (a) **父** ▼

(b) 生計維持者①の氏名 (b) 姓 名
カナ (全角15文字以内)

(c) 生計維持者①の住所 (c) 郵便番号(半角数字) 住所検索
住所 1 (自動入力)
住所 2 (番地以降)(全角文字)

(d) 生計維持者①の生年月日 (d) 年 月 日 生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを欄頭に提出する準備はできていますか。
(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
(注2) 家計調査のため、マイナンバーの提出が必要です。
提出できない場合は、別途毎年所得証明書の提出が必要となります。

準備できている
 これから準備する
 その他

(f) 所得（申込時点の状況）について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。
※単位は万円単位で入力してください。（例：1,000,000円→100万円）

1. 給与所得
 2. 商店・農業工業、個人経営
 3. 失業手当
 4. 生活保護費
 5. 養育手当
 6. 年金
 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当
 8. 祖父母等からの援助や養育費等
 9. その他
 10. 2021年1月1日以前から無職

※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合はのみを入力してください。

年額 万円

年額 万円

年額 万円

年額 万円

年額 万円

年額 万円

年額 万円

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選択してください。

2021年1月2日以前に転職・転職・退職・開業・廃業しましたか。
 2021年1月1日以前から同じ勤務先（同じ業態形態で事業経営）
※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

2021年1月2日以降に転職・転職・退職・開業・廃業
（転職・転職・退職・開業・廃業後の年収（見込み）はいくらですか。
給与明細、納簿、年収見込証明書、廃業届等の学校への提出が必要です）。

・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円
・給与所得以外（商店・農業工業、個人経営） 所得金額合計 年額 万円

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以前に「転職・退職・開業・廃業」している場合はこの年に年額（見込み）を入力してください。
※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円を入力してください。
※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額（見込み）を入力してください（マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です）。
※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額（見込み）を入力してください。

※生計維持者については、必ず「給付奨学金案内」12ページを確認してください。
生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母（父母ともいる場合は2人と可）としています。無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないよう確認してください。
生計維持者は最大2人です。
生計維持者①の入力は必須です。ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。
結婚後に父母が再婚（事実婚含む）している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。
その際は、養子縁組の有無に関わらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。
「貸与奨学金案内」を参照し、該当するものを全て選択してください（併録の入力は1万円未満の枠内）。
説明 (1) は、給付奨学金のみ希望する人には表示されません。
「1」と「2」の欄の年額欄は、自己申告からマイナンバーにより収入情報を連携するため、表示されません。ただし、貸与奨学金を希望する人で生計維持者の勤務先が2021年1月2日以後に変更している場合、勤務先変更後の収入を入力する必要があります。下の欄頭「(f)」の欄頭の「2021年1月2日以後に転職・退職・開業・廃業」を必ず選択してください。
※二次採用（既）で申し込む場合は、2021年を2022年に換えてください。
「(f)」に年額を入力する場合、欄頭「(g)」の生計維持者にも同じ収入を入力し、次のように注意してください（二重計上されてしまいます）。
「(f)」にチェックを入れることができるのは、2021年1月1日以前から継続かつ申込日時点で「(f)～(g)」全てに該当しない場合のみです。他に収入が存在する場合は、欄頭の欄頭にチェックを入れ、「(f)～(g)」にはチェックを入れないでください。「(f)～(g)」のいずれか「(f)」の欄方にチェックを入れると入れ違えません。
また、2021年1月2日以前に「退職・廃業」している場合は、「(f)」にチェックを入れた上の「(f)～(g)」又は「(g)」を選択し、かつ下の欄頭「2021年1月2日以後に転職・退職・開業・廃業」を選択し、年額を入力してください。
※勤務先・事業形態の欄が、「1つだけ退職・廃業」に入力されている場合は、欄頭「(f)～(g)」に必ず「(f)～(g)」を選択してください。
※二次採用（既）で申し込む場合は、2021年を2022年に換えてください。
生計維持者の勤務先が、2021年1月1日以前から変更がない場合は上のボタンを選択。2021年1月2日以後に変更している場合は下のボタンを選択してください。
※二次採用（既）で申し込む場合は、2021年を2022年に換えてください。
生計維持者が海外勤務のためマイナンバーを提出できない場合は、欄頭HP「生計維持者が海外に居住している場合」を参照してください。
海外勤務等により2022年1月1日時点で日本国内に住民票（住民登録）がない場合は該当しますが（二次採用（既）で申し込む場合は、2023年1月1日に住民票（住民登録）がない場合となります）。

◆全員記入(③④は貸与奨学金希望者のみ)

- ① 生計維持者の人数を記入してください。
※生計維持者は原則父母(父母ともいる場合は2名)です。無収入の場合も、生計維持者として入力する必要があります。
※給付奨学金案内P.12を確認すること。
- ② 生計維持者①(一人目)について記入してください。
・続柄
・氏名
・住所
・生年月日
・マイナンバーの準備状況
- ③ 申込時点の生計維持者①の所得について、該当するものすべてにを入れる。
※貸与奨学金案内P.32～38を確認してを入れ、書類提出が必要な場合は提出してください。
- ④ ②で「1.給与所得」「2.商店・農業工業、個人経営」を選択した人は、あてはまるものどちらかにを入れてください。
なお、2022年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合は、年収見込みを記入し、収入に関する証明書を提出してください。
※貸与奨学金案内P.32～38を必ず確認して書類の準備をしてください。

① (g) 生計維持者①は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 はい いいえ
 (h) 生計維持者①は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 はい いいえ

② (a) あなたの職別 (a) 学生 専業主婦/専業主夫
 (b) 生計維持者②の氏名 (姓) (名)
 カナ (全角15文字以内)
 (c) 生計維持者②の住所 (c) 郵便番号 (半角数字) 住所検索
 住所 1 (自動入力)
 住所 2 (番地以降) (全角文字)
 (d) 生計維持者②の生年月日 (d) 年 月 日生
 (e) 生計維持者②のマイナンバーを提出する準備はできていますか。
 (注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を記載してください。
 (注2) 漏記・書き漏しのため、マイナンバーの提出が必要です。
 提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。
 準備できている
 これから準備する
 その他

③ 1. 給与所得
 2. 商店・農業工業、個人経営
 3. 失業手当
 4. 生活保護費
 5. 養育手当
 6. 年金
 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当
 8. 祖父母等からの援助や養育費等
 9. その他
 10. 2021年1月1日以前から無収入
 ※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合はのみを入力してください。

④ 「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選択した人は、あてはまるものを選択してください。
 2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。
 2021年1月1日以前から同じ勤務先 (同じ業務形態で事業経営)
 2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業
 (就職・転職・退職・開業・廃業後の年収 (見込み) はいくらですか。
 (給与明細、帳簿、年収見込証明書、職場関係の学校への提出が必要です。)
 ・給与所得者 給与支払額合計 年額 万円
 ・給与所得以外 (商店・農業工業、個人経営) 所得金額合計 年額 万円
 ※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年収 (見込み) を入力してください。
 ※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円を入力してください。
 ※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年収 (見込み) を入力してください (マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です)。
 ※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年収 (見込み) を入力してください。

⑤ (g) 生計維持者②は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 はい いいえ
 (h) 生計維持者②は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 はい いいえ

給付奨学金申請制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

◆全員記入(③④)は貸与奨学金希望者のみ)

①	生計維持者①について回答してください。
②	生計維持者②(二人目)について記入してください。 ※母子・父子家庭等で生計維持者が1名の場合は記入不要です。 ・続柄 ・氏名 ・住所 ・生年月日 ・マイナンバーの準備状況
③	申込時点の生計維持者②の所得について、該当するものすべてに <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。 ※貸与奨学金案内P.32～38を確認して <input checked="" type="checkbox"/> を入れ、書類提出が必要な場合は提出してください。
④	②で「1.給与所得」「2.商店・農業工業、個人経営」を選択した人は、あてはまるものどちらかに <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。 なお、2022年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合は、年収見込みを記入し、収入に関する証明書を提出してください。 ※貸与奨学金案内P.32～38を必ず確認して書類の準備をしてください。
⑤	生計維持者②について回答してください。

4. あなたの生計維持者（原則父母）の資産の合計額は2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）ですか。
 ※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの、預け金並びに有価証券の合計額（不動産は対象としません）。
 はい いいえ

5. あなたの生計維持者（原則父母）の資産の額をそれぞれ入力してください。（1万円未満は切り捨て）
 (半角数字)
 あなた 万円
 生計維持者① 万円
 生計維持者② 万円
 合計 万円

◆一人親家庭
 6. 父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するものを選択してください。
 父又は母と死別した。
 父母の離婚等により、父母いずれかのみを（本人）は別生計である。
 ※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未決の場合なども含まれます。
 父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。
 その他

◆父母以外
 7. 生計維持者に父母以外の人を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。（複数選択可）
 両親（父母）と死別した。
 両親（父母）が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。
 わたし（本人）は結婚しており、両親ではなく、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されている（納付手続において、わたしの夫（妻）の扶養に入っている）
 その他

◆共通—一人親家庭—父母以外
 必要に応じて、上記の事実関係を認める証明書類の提出を後日求める場合があります。上記の申告に間違いありませんか。
 はい いいえ

事象	証明書類(例)
父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている場合（共通）	・ 課税証明書（課税（夫）控除の適用が分かるもの） ・ 元服扶養手当訂書、受給証明書等
上記の書類を提出できない場合	
父母と死別	・ 戸籍簿本、抄本 ・ 住居票（死亡日記欄あり）
父母が離婚	・ 戸籍簿本、抄本
父母が離婚調停中	・ 審判所による係属証明書 ・ 弁護士による報告書
父又は母がDV被害	・ 自治体等による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」
父又は母が生死不明（行方不明）	・ 自治体や警察署等による「行方不明者届受理証明」
父又は母が意識不明、精神疾患	・ 主治医による「診断書」
学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている	・ 戸籍簿本、抄本 及び ・ 課税証明書（配偶者控除の適用が分かるもの）
その他の事由	・ 事実関係を認める書類（第三者（機関）の所見等）

◆申込者本人
 8. 生計維持者はあなた自身（独立生計者）と入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。
 両親（父母）と死別し、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない。
 父母・祖父母ともに死別し、兄弟姉妹は就学中もしくは病気などの理由で働くことができない。
 わたし（本人）は結婚しており、配偶者等を扶養している。
 その他

申告いただいた内容について、後日確認させていただく場合があります。上記の申告に間違いありませんか。
 はい いいえ

◆全員記入

- ① 資産の合計額について回答してください。
- ② 申請者本人と生計維持者2名(母子・父子家庭等で生計維持者が1名の場合は1名)の資産の額をそれぞれ記入。
- ③ 生計維持者が父または母のいずれか1人(一人親家庭)の方は回答してください。
- ④ 父母以外の人を生計維持者とした方は回答してください。
- ⑤ ③④の回答対象者は回答してください。
- ⑥ 申込者本人を生計維持者としている方は回答してください。

「はい」を選択した場合は課税標準を満たしていないため採用されません。なお、資産に関する証明書類の提出は不要です。

生計維持者①の続柄が「申込者本人」である場合は、当該欄の生計維持者①及び②は非活性となります。

①—あなたの家事情報の3にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合にのみ表示されます。
 「離婚等」については、単なる不仲による別居は認められません。また、「その他」に入力する場合はできるだけ具体的に入力してください。

①—あなたの家事情報の3にて、父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ表示されます。
 父母以外の人を生計維持者にした理由として、父母と単に不仲であることは認められません。
 該当する選択肢が2つ以上あれば全て選択してください。
 なお、ここでは「生計維持者が父母以外(1名)となるケースは以下のような場合です。
 ・両親(父母)と死別し、おじ夫婦と生計している
 ※おじ夫婦のうち、あなたの生計を主に維持している方(1名)が「生計維持者」となります。
 ・両親(父母)が生死不明のため、未成年養育人(祖父)と生計している。

①—あなたの家事情報の3にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合、または父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ表示されます。
 生計維持者の考え方については、「給付奨学金案内」22ページ、及びJASSOホームページに掲載している「生計維持者について」[生計維持者に係るQ&A]を併せて確認してください。

JASSO 生計維持者について 検索

①—あなたの家事情報の3にて、あなた自身を生計維持者(独立生計者)としている場合にのみ表示されます。
 あなた自身を生計維持者にした理由として、父母と不仲であることは認められません。また、あなたの収入及び奨学金等だけで生活しているという状況であったとしても、父母がいる場合は、原則父母が生計維持者となります。

注意! 口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

- 入力** ようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリストを使って確認してください。
- ① あなた本人の預・貯金口座です。
 - 銀行等の普通預金口座、または、ゆうちょ銀行の普通貯金口座です。
 - 約物のカナ氏名と通帳の口座名義人（カナ）は完全に同一です。
 - 金融機関名・支店名・口座番号（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号・番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。（※）
 - この通帳は1年以内に記載されました（休眠口座ではありません）。
 - 郵便、信託銀行、外資系銀行、SB新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等の口座ではありません。
 - ※3か月以内に新設された支店は選択できません場合があります。

② ①-奨学金振込口座情報

1. 公金受取口座の利用を希望しますか。

1. 希望します 希望しません

2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。

2. 銀行等 ゆうちょ銀行

③ **【銀行等を選択した場合】**

金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読み先頭1文字を選択してください。 (1)

1. (2) 金融機関名を選択してください。 (2)

(3) 支店名の読み先頭1文字を選択してください。 (3)

2. (4) 支店名を選択してください。 (4)

3. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。 (口座名義人は本人に取ります)

姓 名

4. 口座名義人（全角カナ）

④ **【ゆうちょ銀行を選択した場合】**

3. 貯金通帳等で確認後、口座の記号・番号を入力してください。

3. 記号-番号

確認のため、再度口座の記号・番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。 (口座名義人は本人に取ります)

姓 名

4. 口座名義人（全角カナ）

【通帳の口座名義人・口座情報が記載されているページのコピーをここに貼り付け】

奨学金申込の時点で公金受取口座を登録済であるのみ「希望します」を選択することができます。ただし、公金受取口座が奨学金の振込に利用できない口座（「奨付奨学金案内」16ページ参照）の場合は、「希望しません」を選択してください。

注意事項を記載していますので、公金受取口座の利用を希望する場合はこのボタンを押して必ず確認してください。

番号が所に入らない場合は、そのままの桁数を入力してください。

口座名義人は、①-あなた自身の住所・氏名情報で入力したあなた本人のカナ氏名と完全に同一である必要があります。半角と全角それぞれ15文字まで入力できます。半角が15文字以上ある人は、15文字まで短縮し入力し、16文字以降は名に記入してください。半角と全角が混在する場合は、名を半角に「ミドルネーム」と「姓」をスペースを入れて入力してください。

【記号】と【番号】の間に数字がある場合は、その数字は入力しないでください。半角番号が所に入らない場合は、そのままの桁数を入力してください。

④ 各選済全 銀行等 1 2 3 4 5

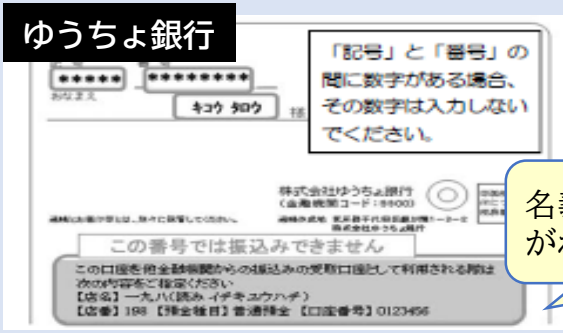
キヨウ知ウ

株式会社××銀行

16ページに**通帳のコピー**を貼り付けて提出してください。

◆全員記入

①	奨学金の振込先に使用できる口座かどうか、チェックして確認してください。 ※必ず本人名義の口座を登録すること。
②	公金受取口座の利用を希望するかどうか回答してください。 ※申請時点で登録済の方のみ希望できます。
③	ゆうちょ銀行またはその他の銀行等、どちらを利用するのか選択してください。
④	③で「銀行等」を選択した方は、金融機関名や口座番号等を正しく記入してください。
⑤	③で「ゆうちょ銀行」を選択した方は、口座の記号-番号を正しく記入してください。



名義人・支店名・口座番号等がわかる部分をコピー

